

## 特定施設（水質基準対象施設）の構造

工場又は事業場における施設番号	No. 4	施設毎に適宜一連番号を与えて記入する。なお、大気基準対象施設と重複しないように注意する。
特定施設番号及び名称	第10号イ廃ガス洗浄施設	別表第2の号番号及び名称を記入する。なお、どの施設にあたるのかの判断は、次による。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>廃ガス洗浄施設</b> 排出ガスに直接水を噴霧することにより、排出ガス中の煤塵（飛灰）を除去する施設</li> <li>・<b>湿式集じん施設</b> 排出ガス中から取り除いた煤塵（飛灰）を水中に収集するなど、収集時に何らかの形で水を用いる施設</li> </ul>
型 式	〇〇社製 〇〇-△△	当該施設の製造者名・型番を書く
構 造	別図第2図の通り SUS製	別図にて、当該施設の構造図を添付する。また、当該施設の主要材質を記入する。
主要寸法	径0.5×高さ2.0 (m)	当該施設の主要寸法を記入する。 縦×横×高さ 直径×高さ など
能 力	2,000Nm <sup>3</sup> /h	当該施設に係る最大能力を記入する。 例えば・廃ガス洗浄施設なら処理できるガス量 湿式洗浄施設なら捕捉可能煤塵量
配 置	別図第2図のとおり	配置については、一般的には別図にて事業場平面図に配置位置を記入する。なお、複数の特定施設を有する場合は、施設番号等で明瞭に区別できるようにする。
設 置 年 月 日	平成 年 月 日	使用届の場合は施設の設置年月日を記入する。
工事着手予定年月日	平成16年10月10日	設置届の場合は、工事着手予定・工事完成予定・使用開始予定年月日を記入する。 （なお、構造変更の場合は、変更前・変更後で変更内容が対比できるように記入し、既設置年月日及び変更に係る着手予定・完成予定・使用開始年月日を記入する。）
工事完成予定年月日	平成16年11月10日	
使用開始予定年月日	平成16年11月20日	
その他参考となるべき事項	従業員数 15名 休業日 日曜、祝日 操業時間 8時～17時	例えば従業員数・操業日・操業時間等、特に参考となるべき事項を記入する。

- 備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
- 2 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

別紙 5

特定施設（水質基準対象施設）の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	No. 4		別紙4の特定施設（水質基準対象施設）で使用した番号と合わせる。
設置場所	別図第1図の通り		別紙4の配置欄と同様に、別図で配置場所を表す。
操業の系統			廃棄物焼却炉に関する届出の場合は、操業の系統欄は書かなくてよい。
使用時間間隔	週4回程度 断続使用		当該特定施設の使用の時間間隔を記入する。 例・「連続」 「断続」 等
1日当たりの使用時間	4時間		平均的な1日あたりの操業時間を記入する。
使用の季節的変動	なし		使用しない月を記入する。 (例・4月～6月休止)
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	木くず、紙くず、廃プラ 1日約300kg		焼却する資材の種類及び量を記入する。
汚水又は廃液の汚染状態	通常	最大	特定施設から排出される汚水のダイオキシン濃度を記入する。 また、浮遊物質量（SS）濃度も記入すること。化学的酸素要求量（COD）についても出来る限り記入することとする。  使用届の場合は、どうしても分からない場合は書かなくて良い。
	ダイオキシン ND SS 200	0.1 400	
汚水等の量（m <sup>3</sup> /日）	通常	最大	特定施設から排出される汚水の水量を書く。 循環使用していても、一旦特定施設外に汚水が出る場合は、その水量を書く。
	1	2	
その他参考となるべき事項			

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	No. 5				
処理施設の設置場所	別紙第1図の通り				
設置年月日	平成 年 月 日				
工事着手予定年月日	平成 16年 10月 10日				
工事完成予定年月日	平成 16年 11月 10日				
使用開始予定年月日	平成 16年 11月 20日				
種類及び型式	〇〇社製 WW-01				
構造	別図第4図の通り RC製				
主要寸法(m)	2.5 × 3.1 × 1.5 (m)				
能力	20 m <sup>3</sup> /日				
処理の方式	自然沈降 (三槽式沈澱槽)				
処理の系統	原水槽→沈澱槽→スクリーン→放流ピット				
集水及び導水の方法	別図第1図の通り				
使用時間間隔	連続				
1日当たりの使用時間	24時間				
使用の季節変動	なし				
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	なし				
汚水等の汚染状態及び量		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後
	ダイオキシン類	ND	ND	0.1	ND
	SS	150	45	250	75
	COD	100	50	150	75
	量 (m <sup>3</sup> /日)	5	5	10	10
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	10kg/月 産廃処理業者に処理委託				
排出水の排出方法	No. 1排水口より排出				
その他参考となるべき事項					

汚水処理施設について、施設番号を付与し、記入する。特定施設と重複しないよう注意する。

別図で配置場所を特定する。

別紙4等と同様に記載する。  
ここで書くべき年月日は、それぞれ汚水等処理施設について記入する。

製造メーカー、型番等を記載する。

別図で構造図を添付するとともに材質を記入する。  
汚水処理施設の寸法を記入する。

汚水処理施設の能力を記入する。

処理の方式を記入。(例・凝集沈殿、砂ろ過)

排水処理のフローを記入する。別紙に記載しても良い。  
給排水系統について平面図に給水・青、排水・赤で記載する。

別紙5と同じ記載要領で書く。

汚水処理施設について、何らかの薬剤等の消耗資材があれば記入する。

ダイオキシン類について、処理前と処理後の水質を出来る限り記入する。

また、水質についての一般項目(pH、BOD、COD、SS等)についても、測定データがあれば記入する。

水量については必ず記入する。なお、循環使用で場外へ排出しない場合でも、この欄には、それぞれ排水処理施設へ入る量、出る量を記入する。

排水処理汚泥の量及び処理方法について記入。

排水口に名称を付し、記入する。  
循環使用の場合は、循環使用と記入する。

- 備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。